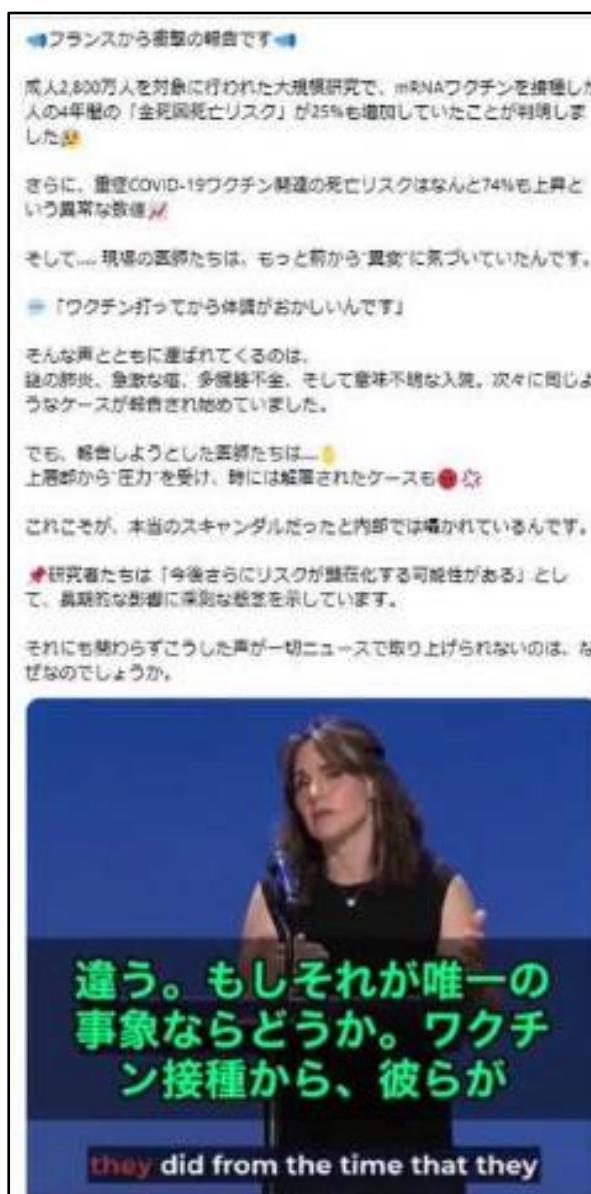


新型コロナの mRNA ワクチンで死亡リスクが 74%上昇? 根拠とされた論文の結論は正反対 【ファクトチェック】12/22 日本ファクトチェックセンター



フランスでの新型コロナウィルスワクチンに関する大規模な研究で「mRNA ワクチンを接種した人の 4 年間の『全死因死亡リスク』が 25% 増加」「重症 COVID-19 ワクチン関連の死亡リスクは 74% 上昇」などと判明したという主張が X で拡散しましたが、誤りです。根拠と見られる論文は「COVID-19 の

mRNA ワクチンを接種したフランスの 18-59 歳を対象とした調査で、4 年間の全死因死亡率の上昇は見られなかった。mRNA ワクチンの安全性をさらに裏付けた」と、正反対の結論を出しています。



拡散した言説

2025 年 12 月 17 日、「フランスから、成人 2,800 万人を対象に行われた大規模研究で、mRNA ワクチンを接種した人の 4 年間の『全死因死亡リスク』が 25% 増加していたことが判明しました」と。さらに、重症 COVID-19 ワクチン関連の死亡リスクはなんと 74% も上昇という異常な数値。そして... 現場の医師たちは、もっと前から「異変」に気づいていたんです。

フランスから衝撃の報告です

成人 2,800 万人を対象に行われた大規模研究で、mRNA ワクチンを接種した人の 4 年間の『全死因死亡リスク』が 25% 増加していたことが判明しました。

さらに、重症 COVID-19 ワクチン関連の死亡リスクはなんと 74% も上昇という異常な数値。

そして... 現場の医師たちは、もっと前から「異変」に気づいていたんです。

「ワクチン打ってから体調がおかしいんです」

そんな声とともに連ばれてくるのは、他の肺炎、急激な筋肉痛、多臓器不全、そして意味不明な入院。次々に同じようなケースが報告され始めていました。

でも、報告しようとした医師たちは...

上層部から「圧力」を受け、時には解雇されたケースも。

これこそが、本当のスキャンダルだったと内部では囁かれているんです。

研究者たちは「今後さらにリスクが顕在化する可能性がある」として、長期的な影響に深刻な懸念を示しています。

それにも関わらずこうした声が一切ニュースで取り上げられないのは、なぜなのでしょうか。

検証する理由

12 月 22 日現在、投稿は 1100 回以上リポストされ、表示は 4.4 万件を超える。

投稿には「ちょっと翻訳にかけられると分かる」という指摘もあるが、「貴重な情報を教えて下さり感謝申し上げます」や「国家賠償請求する事案に、近い将来日本でなることと思います」など、投稿を真に受けたコメントも多い。

検証過程

動画の内容は

添付動画は 42 秒。黒い服の女性が英語で話している。ポイントを以下に抜粋する。

「新型コロナワクチンの接種を受け、2 ヶ月後に多臓器不全や奇妙な肺炎、死に至るような RS ウィルス、その他あらゆる不可解な症状や癌で入院するケースがあります。これらは報告

すべき事案です」

「多くの人は、副反応はワクチン接種後 48 時間以内に起こると思いこんでいます。でももしワクチン接種以外に特別な出来事がないまま『ターボがん』になったとしたら? それも報告対象です」

「患者は『新型コロナワクチンを接種して以来、ずっと体調が優れない』と言うでしょう。患者は、あなたに有害事象を報告すべきだと訴えているのです」

動画の右下には、動画編集ソフト Vrew のウォーターマークがある。AI を使った編集の可能性もあるが、映像自体には違和感はない。

フランスの大規模調査は実在するが、論文の結論は投稿と正反対

米国国立医学図書館 (NLM) が提供する、医学・生命科学の文献情報データベース PubMed で「France COVID-19 mRNA Mortality」というキーワードで検索してみた。

見つかるのは 2025 年 12 月 1 日に公開された、フランス国立医薬品・保健製品安全庁 (ANSM) および国立健康保険機構 (CNAM) 直属疫学研究グループ (EPI-PHARE) の Laura Semenzato 氏らによる論文「フランスの 18-59 歳成人における COVID-19 mRNA ワクチン接種と 4 年間の全死亡率 (COVID-19 mRNA Vaccination and 4-Year All-Cause Mortality Among Adults Aged 18 to 59 Years in France)」だ。

フランスで実施された、新型コロナ mRNA ワクチンの長期的な安全性に関する大規模な調査結果をまとめた論文だ。「2800 万人を対象」や「4 年間の全死因死亡リスク」「25%」

「74%」など、数字や条件が拡散した投稿と一致する。これらから、投稿は、この論文を根拠とした可能性が高い。

論文から、投稿と関係が深い個所を以下に抜粋する。

「ワクチン接種者は、重症 COVID-19 による死亡リスクが 74% 低く (加重ハザード比 [wHR] 0.26 [95% CI 0.22-0.30])、全死因死亡率のリスクも 25% 低い (wHR 0.75 [95% CI 0.75-0.76]) 結果となった」

「結論及び意義：2800 万人を対象としたこの全国的なコホート研究の結果、COVID-19 ワクチンを接種した 18-59 歳において、4 年間の全死因死亡率のリスクの上昇は見られなかった。この結果は、世界中で広く使用されている mRNA ワクチンの安全性をさらに裏付けるものとなった」

つまり、論文は「死亡率の上昇はなかった」「mRNA ワクチンの安全性を裏付けた」などと結論づけている。細かい数字は投稿通りだが、拡散した投稿とは正反対の結論だ。

判定

フランスで実施された新型コロナウィルスワクチンに関する大規模な研究で「ワクチンを接種した人の 4 年間の全死因死亡リスクが 25% も増加したと判明」という主張が X で拡散した。出展元と見られる論文は投稿内容と正反対の結論だ。よって、誤りと判定する